

成

3 特集

新教育課程編成

ブラッシュアップに向けた3つの視点

21 For School Section

- 22 新課程に向けて描く「学校教育デザイン」
埼玉県立鴻巣高校
- 26 —疑問や課題を解決！ 実践につながる！— 新課程レポート
秋田県立湯沢高校
- 30 指導変革の軌跡
大阪府・私立興國高校
- 34 輝く学年団を訪ねて
北海道・私立札幌光星中学校・高校 高3学年団
- 38 学校危機管理 基礎講座
テーマ 学校の危機管理の基本

41 For Teacher Section

- 42 発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践
- 42 現代文 北海道・市立札幌平岸高校 対馬光揮
- 46 地理 宮城県宮城第一高校 三浦 学
- 50 SDGsの視点で見る大学の学び
- 50 解説 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 50 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 52 大学の学び 目標9 高知工科大学 システム工学群
知能機械工学専攻 知能ロボティクス研究室
- 54 目標10 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 加山ゼミ
- 56 これからの進路指導のための 世の中トレンド解説
トレンド・ワード DX (デジタルトランスフォーメーション)
- 60 誌上で見学 学びのnext
言語技術教育 東京都・私立芝浦工業大学附属中学高校

- 40 データから考える！ 指導のnext
ビックアップデータ ベネッセコーポレーション「スタディーサポート」
- 64 Reader's VIEW

<https://berd.benesse.jp>

本誌記事は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでもご覧いただけます。

印刷製本／(株)協同プレス 編集協力／(有)ペンダコ 執筆協力／田中祥子、中丸 満、二宮良太 撮影協力／熱田智寿佳、荒川 潤、筒井岳彦、ヤマグチイッキ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。 ※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 ©Benesse Corporation 2021

新教育課程編

ブラッシュアップに向けた3つの視点

新学習指導要領の実施まで1年を切り、2022年度入学生の教育課程の編成は大詰めの段階にある(*1)。
編成上の課題として学校現場から寄せられている、

「教師間で、教科の枠を超えた教育課程に対する理解が不足している」

「所属する教科の都合を主張し、学びの変化に対する他教科との連携についてイメージを共有できていない」

「『歴史総合』『公共』『情報』など、1年次で履修させたい必修科目が多くて悩んでいる」

といった声(*2)からは、各校の苦慮がうかがえる。

今号では、新学習指導要領の要点を改めて整理した上で、2校の実践事例と

新教育課程編成に関するデータを基に、自校の編成案をさらに磨き上げるために必要な視点を考える。

毎号の特集テーマの次なる展望を示す「本特集テーマの next」では、

多くの学校が新教育課程編成の次に取り組むべき課題として捉えている「学習評価」を取り上げる。

*1 ベネッセ教育情報センター「教育・入試改革対応に関する調査」の速報結果(2021年2~3月にウェブとファクスで実施。2021年3月12日時点の回答者233人)では、75%の学校が編成終盤か教科間の調整段階と回答している。

*2 『VIEW21』高校版読者モニターへのアンケート結果(アンケートは、2021年2月にウェブとファクスで実施)。

P.4 新教育課程の編成 課題整理

新教育課程の編成に向け、新学習指導要領の要点を改めて押さえる

P.6 新教育課程の編成 事例1 山形県・私立山形城北高校

学校や生徒の課題を基に教育活動を見直し、新教育課程への移行を機に、学校改革を推進

P.10 新教育課程の編成 事例2 山梨県立吉田高校

資質・能力ベースの教育目標に基づき、教科・科目を超えて生徒の成長を支える

P.14 ベネッセ文教総研 解説

新教育課程編成で必要な視点・考え方

P.18 本特集テーマの next

長野県「学びの指標」から考える これからの学習評価のあり方とは

長野県教育委員会事務局 高校改革推進役 内堀繁利 / 東京都・私立かえつ有明中・高校 副教頭 佐野和之 /
広島県・私立英数学館中学・高校 副校長 土屋俊之 / ベネッセ教育総合研究所 主席研究員 小村俊平